

## XMLコンソーシアムの活動状況

---

**田原春美**

Harumi TAHARA

XMLコンソーシアム 副会長

日本アイ・ビー・エム株式会社

## XML, Webサービスの 普及と標準化を目指して -XMLコンソーシアム活動のご紹介-

2004年6月8日

XMLコンソーシアム  
副会長&運営委員会議長 田原 春美  
(日本アイ・ピー・エム株式会社)

## 本日のご説明

- XMLコンソーシアムの概要
- 3年間の活動成果
- XML、Webサービスの現状
- XMLコンソーシアム今後の活動について

## XMLコンソーシアムの概要

### ■活動目的 (2004年6月8日現在)

日本におけるXML (eXtensible Markup Language)、  
Webサービスを利用したシステムやサービスの普及、啓蒙  
およびXMLによる標準化を推進する非営利団体

### ■構成

会長 NTTソフトウェア(株)取締役相談役 鶴保 征城  
会員数 217法人会員(70%強 = IT関連企業)  
理事会 21社  
運営委員会 14社23名  
XMLコンソーシアム エバンジェリスト 23名

## XMLコンソーシアムの概要

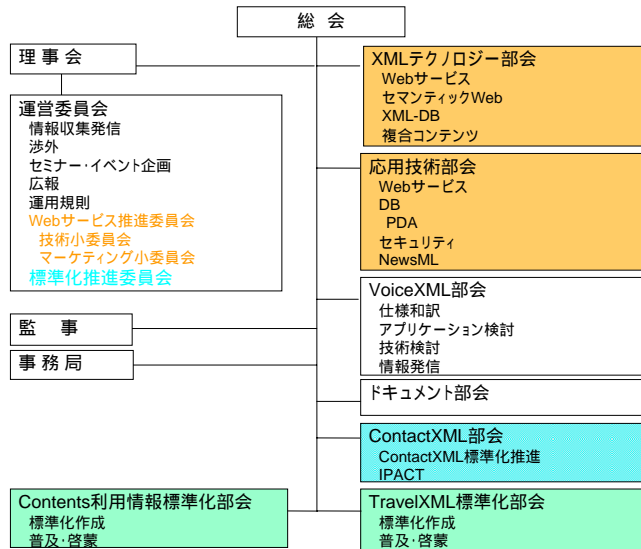
### XMLコンソーシアムの歩み

2001年 6月 XMLの普及促進を目指し3年3期の活動開始  
10月 + Webサービスへの取り組み  
2002年 6月 + 標準化への取り組み  
部会: 技術系:3部会、啓蒙系:1部会、標準化:3部会  
推進委員会: Webサービス推進委員会、標準化推進委員会  
\*\*\*\*\*  
2004年 6月 会期をはずし活動継続へ  
+ SOAへの取り組み

### 特徴

中立性  
一社ではできない活動を実施  
競合他社の連合だから可能な活動を実施  
人的ネットワーク作りを重視  
成果物の公開

## XMLコンソーシアム組織 (2004年6月8日現在)



5

## 3年間の活動実績

■総会	5回		
■理事会	5回		
■運営委員会	56回		
■主催セミナー	30回		出席者 3,472名
■部会成果発表会	8回	25日	出席者 2,940名
■講演活動	32回	63名	
■執筆活動	25回		
■催事の後援	30回		
■プレスリリース	15回		

6

## 部会活動の成果 - 技術系部会

### ■テクノロジー部会:

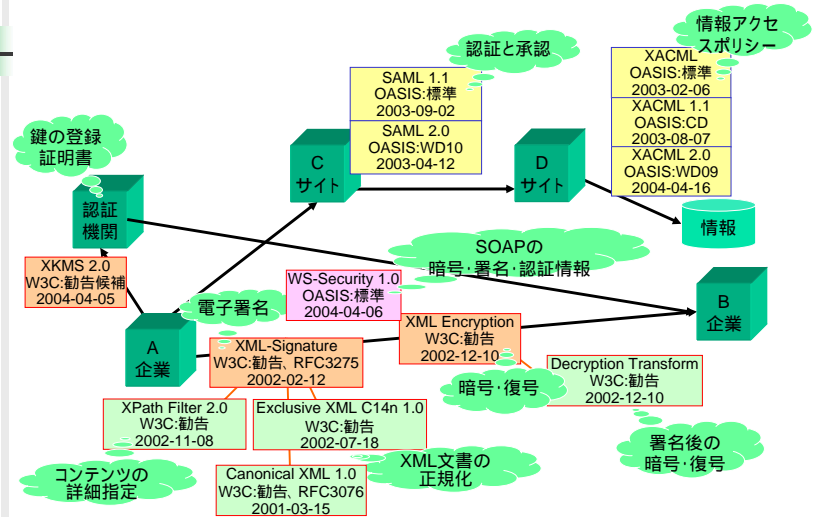
- W3Cワーキングドラフト日本語訳版の作成  
XML QueryCases, XPath 2.0
- テクノロジーMap、補足用語集
- XMLテクノロジー通信メルマガ発刊

### ■応用技術部会

- NewsMLを利用したWebサービス接続実験
- 観光情報集配信Webサービス実証実験
- TravelXML実証実験
- Security関連仕様実装デモ
- SAML、XML Signature、XML Encryption

7

## XMLテクノロジー部会技術マップ セキュリティ関連XML規格一覧

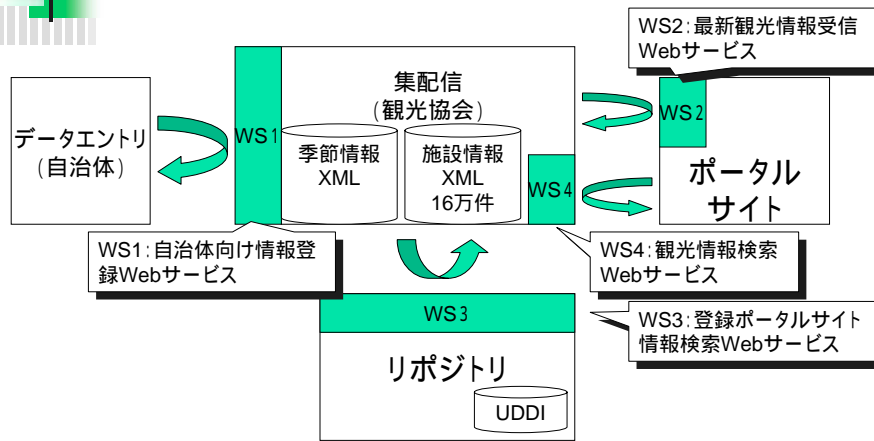


(応用技術部会セキュリティWG 提供)

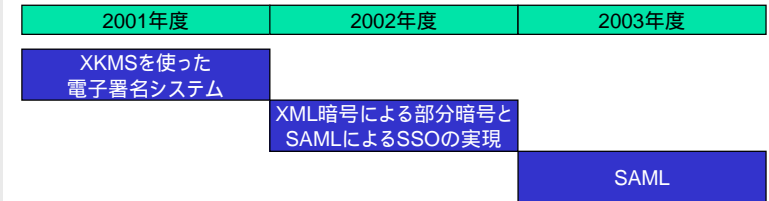
8



## 実証実験システム・モデル



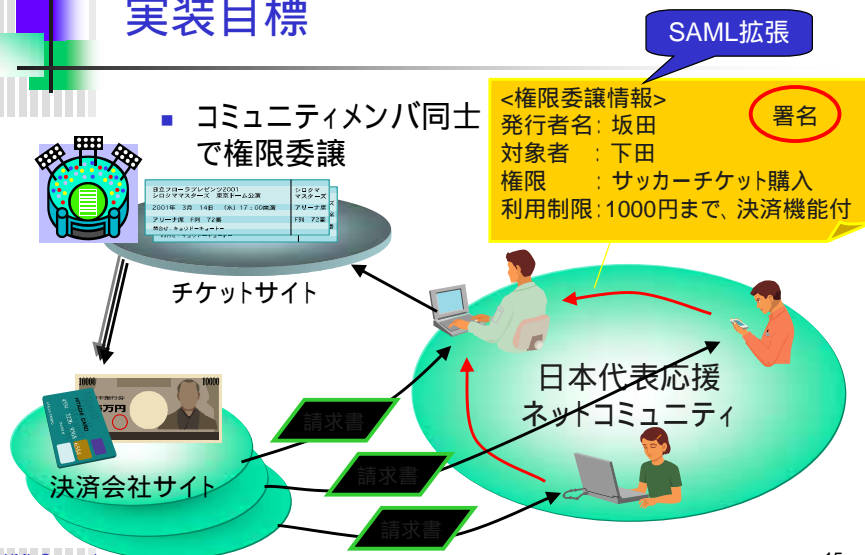
## 応用技術部会セキュリティWG 活動実績と今年度の目標



### ■ 今年度の目標

- 昨年度迄の成果を集大成として結集したデモシステムを開発
  - ・ XML Signature
  - ・ XML Encryption
  - ・ SAML

## 実装目標



## 部会活動の成果 - 技術系部会

### ■ VoiceXML部会

- 日本語訳版の作成
  - VoiceXML 1.0
- 利用ガイドライン
  - 一部、VoiceXML 2.0仕様に採用
- VoiceXML UIの研究
- 音声ポータル実証実験
- 実験デモシステム開発
- NET & COM出展体験、コメント収集
- VoiceXML 3.0への提案予定

## 音声ポータル実証実験に至る経緯

- 音声ポータル普及のための課題検討
  - ユーザインタフェース(UI)に問題あり
    - 開発者に音声インタフェース固有のノウハウがない
- 開発者支援の第1ステップ
  - 音声UI知見の蓄積
    - 「音声ポータルの簡易評価方法」の検討
    - 「音声UI上の典型的問題点」の抽出・整理
- 第2ステップ:蓄積したUI知見の実践的検証
  - 実証実験

## 音声ポータル実証実験の概要

- 活動内容
  - 電話を使った資料検索請求サービス等の実験アプリケーションを構築
  - 参加企業が3チームに分かれて、共同開発
    - 実験企画チーム・コンテンツ作成チーム・技術検討チーム
  - 活動を3つのターンで分けて、それぞれでユーザテスト等により評価・改善
- 参加企業
  - MITシステム研究所、沖電気工業、しーこむ、都築ソフトウェア、トッパン・フォームズ、日本テレコム、日立製作所、富士通、富士通研究所(50音順) 計9社

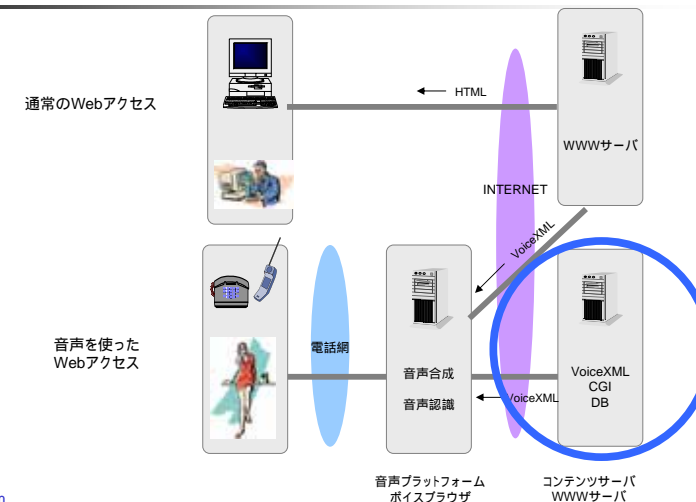
## 音声ポータル実証実験 スケジュール

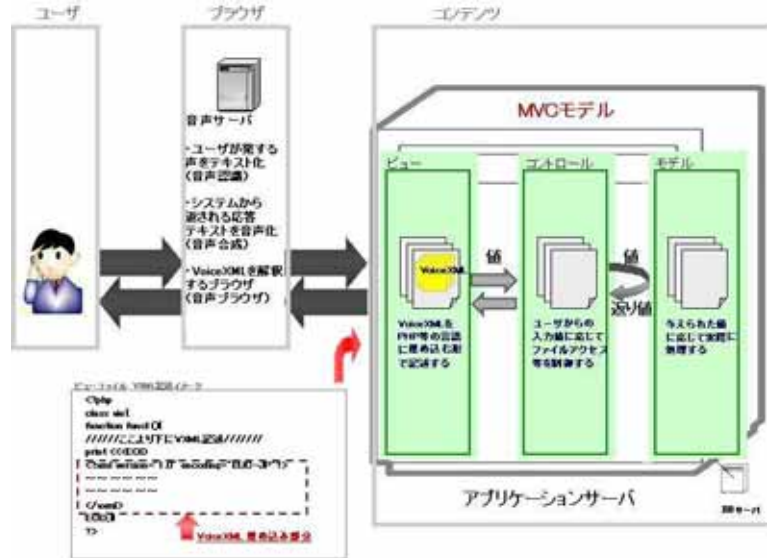
期間 03/11 ~ 04/04 (6ヶ月間)

3つのターンに区切って実施

03/8	03/9	03/10	03/11	03/12	04/1	04/2	04/3	04/4	04/5
全体計画・設計			実験実施						まとめ
ターン1	設計	プロトタイプ開発	分析	Net&Com 2004					
ターン2	設計	試用・改良	分析						
ターン3	設計	評価	分析						

## 音声ポータル実証実験 システム構成





## 部会活動の成果 - 標準化部会

**ContractXML**: ビジネスに必要な電話番号や住所など、連絡先記述に必要な情報を標準的に記述。XMLコンソーシアム独自開発

2002.10.01 V1.1 勧告発表

2003.04.18 V1.1a 公開

**ContentsBusinessXML**: コンテンツの配信許諾および利用許諾取引のための標準仕様化、デジタル・コンテンツ協会との共同開発。目的は、コンテンツ取引のための著作権事務処理の効率化、円滑化による流通市場の拡大

2003.05.26 勧告案公開

2003.09.29 勧告発表

## 部会活動の成果-標準化部会

**TravelXML**: 旅行業界における電子商取引の標準仕様化  
日本旅行業協会との共同開発

目的:

国内外の宿泊施設、ツアーオペレーター、旅行者などをリアルタイムに結び

- ・業界全体のシステムの効率化による業務スピードの向上
- ・コストダウン
- ・お客様へのサービス向上

## TravelXML

フェーズ1:

海外ホテル/ツアーオペレーターへの手配データ提供仕様  
国内旅館・ホテルとの在庫照会・予約に付随する手配データ提供使用

パッケージツアーの在庫照会、予約に付随する通知類仕様

2003.02.05 日本旅行業協会との共同開発を発表

2003.09.24 1.0勧告案の公開

2003.09.28 1.0勧告、1.1勧告案公開

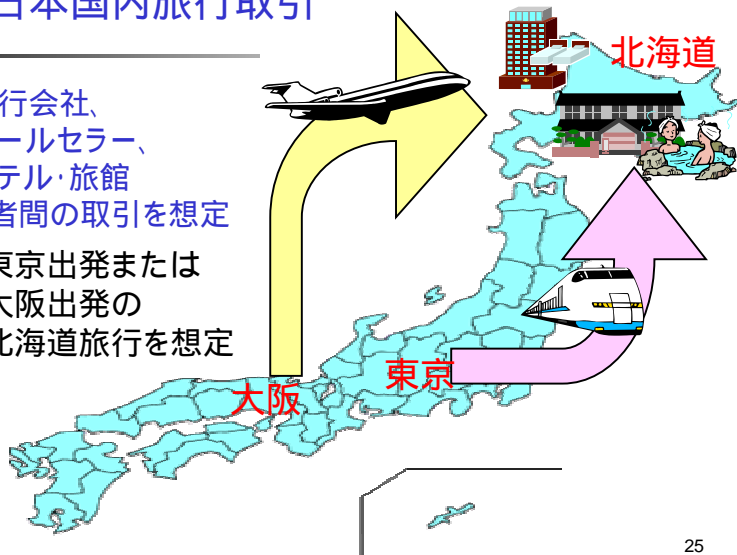
2004.05.20 1.1.1勧告

# TravelXML実証実験デモ構成

## -日本国内旅行取引

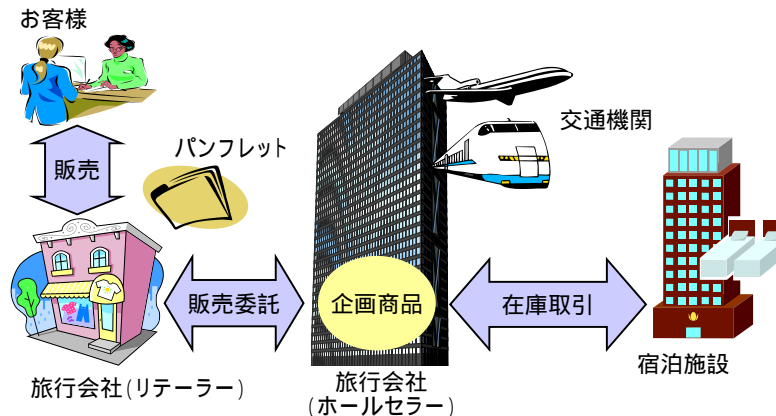
旅行会社、  
ホールセラー、  
ホテル・旅館  
3者間の取引を想定

東京出発または  
大阪出発の  
北海道旅行を想定



XML Consortium

# TravelXML実証実験デモ構成

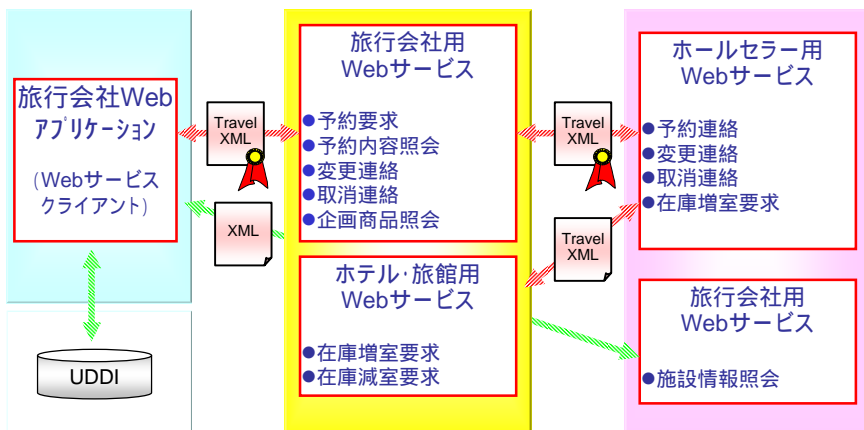


# Webサービスの配置構成

リテラー

ホールセラー

ホテル・旅館



# デモの想定

4日間の休暇が取れた、家族旅行に行こう!

- 疲れた心と体を癒す旅がしたいな
- やっぱり美味しい物も食べたい
- 同じ内容ならもちろん安い方が料金が良い
- 面倒な予約手続きは自分でやりたくない



なんて思いながら駅の旅行会社で探したら...  
ぴったりのパッケージ旅行商品があった~。  
さっそく予約しよう!

予約する旅行は

北海道ラベンダー祭りと味覚の旅





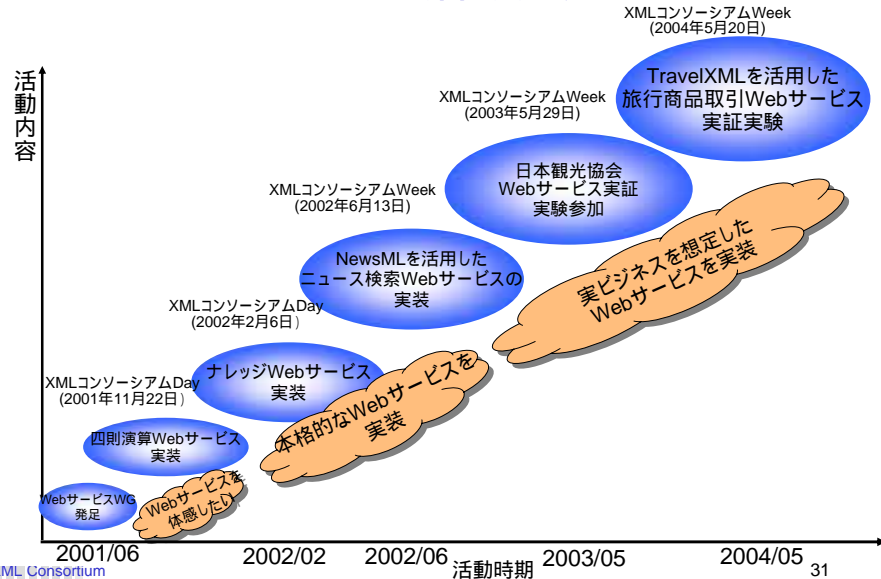
## TravelXML実証実験の意義

- TravelXMLとWebサービス技術を利用した旅行業界における新しい電子商取引のモデルを構築
  - 業界全体の効率化
  - 利用者サービスの向上
- TravelXMLをWebサービス上に実装するビジネスモデルの有効性を検証
- 実装経験の蓄積、成果物の公開
  - TravelXMLを実装するWebサービスシステム構築のための設計指針、ノウハウ、基礎データのとりまとめと一般公開

## TravelXML実証実験の意義

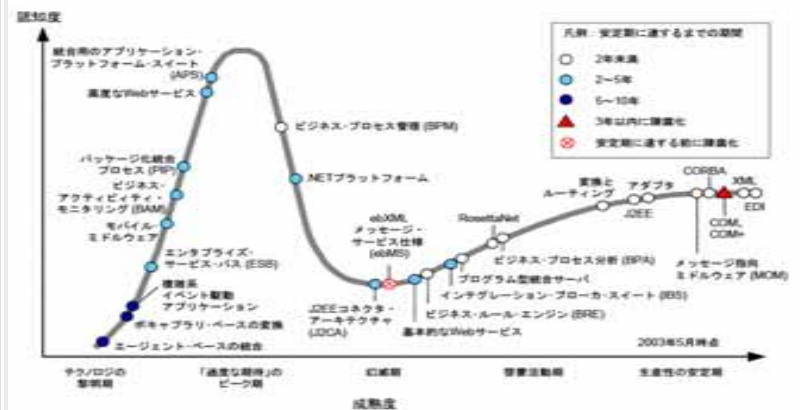
- Webサービスを用いた情報登録・検索ではなく予約登録のような更新系サービスでの検証を実施。
- 電子商取引にWebサービス技術を適用する場合のセキュリティの確保について、ビジネスシナリオをベースに技術的検証を実施
- 複数ベンダー(15社)のWebサービスプラットフォームを用い、インターネット環境での相互接続性を検証

## WebサービスWG活動経歴



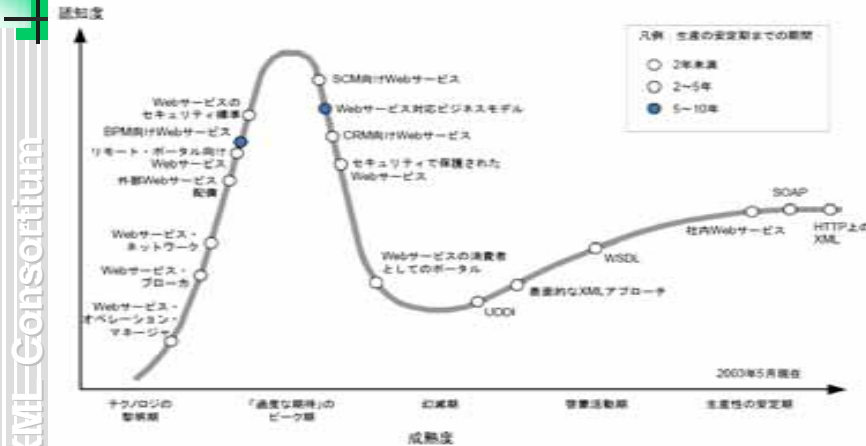
## XML, Webサービスの現状

アプリケーション統合とプラットフォーム・ミドルウェアのハイブ・サイクル(2003年)

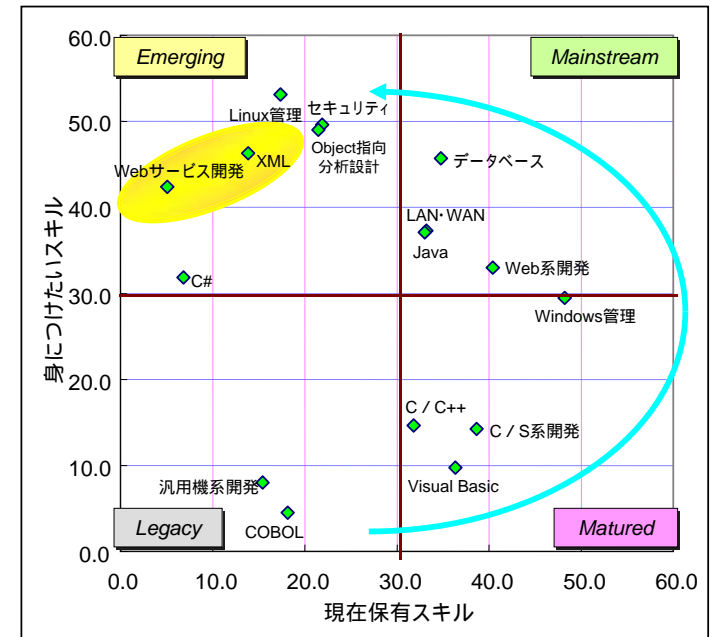
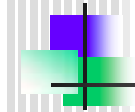


# XML, Webサービスの現状

## Webサービスのハイプ・サイクル(2003年)



Source: Gartner Strategic Analysis Report 「Webサービスのハイプ・サイクル(2003年)」 December 26, 2003, GJ04305



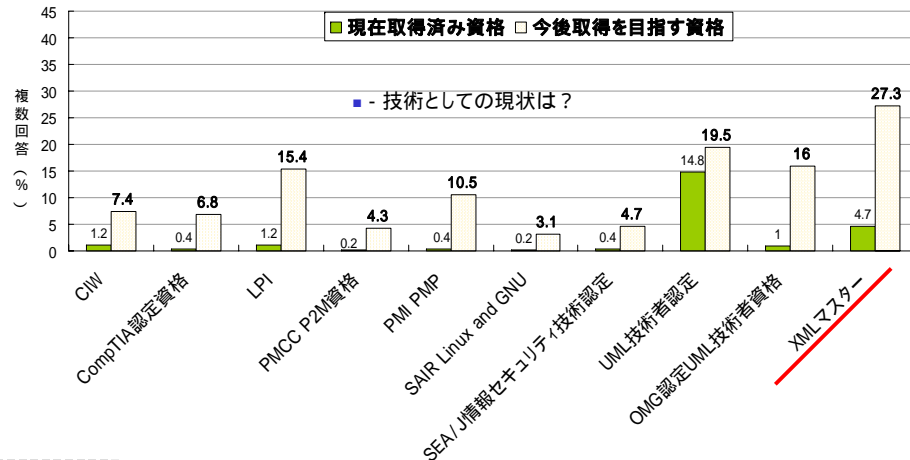
出典: 「第2回 @IT自分戦略研究所 読者調査」 2003年7月, N=512

# 新しい資格取得状況:

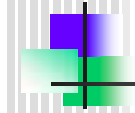
## ベンダーニュートラル資格

▶現在もっとも取得されているベンダーニュートラル資格は、「UML技術者認定(オージス総研/UMLモデリング推進協議会)」。一方、今後取得を目指す資格では、「XMLマスター」の取得意向が他をリードしている。

▶あなたが「1.すでに取得済みの資格」「2.今後取得を目指す資格」を、それぞれいくつもお選びください。



出典: 「第2回 @IT自分戦略研究所 読者調査」 2003年7月, N=512



# XML、Webサービスの現状 - 技術

- 技術としての現状(参照: ガトナーのハイプサイクル2003年5月)
  - XML: 安定した生産期。
  - Webサービス:
    - 基本的なWebサービス(社内アプリの統合)幻滅期を脱し、普及期へ
    - 高度なWebサービス(任意に取引相手との統合)未だ過剰な喧伝の最中
- エンジニアにとってのXMLの魅力度、習得対象に関するデータ(参照: @IT自分戦略研究所読者調査)
  - XMLやWebサービスは、Linux / オブジェクト指向分析設計などと並んで、「Emerging」(まだ習得者は少ないが、今後注目が高い)領域に位置付けられる。
  - 今後取得を目指す資格では、「XMLマスター」の取得意向が他をリードしている。

## XML、Webサービスの現状 - 普及状況

- IDC 2003年3月25日付けプレスリリース:  
Webサービスの導入率は 4.3%
- 日経MA 2003年4月25日: Webサービスの利用率は13.8%
- @IT読者アンケートでは?
- XMLコンソーシアム会員アンケートでは?
- 「米国での導入利用率は40%との報告」2003/08  
米アクセントゥア技術責任者

ビジネス、情報化社会におけるインターネットの重要性が増加  
XML、Webサービスの重要性が急激に増加  
ビジネスの基盤技術として認知度向上  
情報化社会の基盤技術として認知度向上

## XML、Webサービスの現状総括

ビジネス、情報化社会におけるインターネットの重要性が増し、XML、Webサービスの重要性が急激に増加している。  
主要ITベンダーがこぞって推進している！！  
XML、Webサービスはビジネスを、情報化社会を支える基盤技術、標準技術だ！

VS

使うと何がどう良いの？  
今までとどう違うの？  
陣営間の仕様競争は標準化の障壁？  
Interoperabilityは？

有用性の訴求が急務

**XMLコンソーシアム、活動終了などと言っていられない！！**

## XMLコンソーシアム今後の活動

- 新しい活動テーマ: SOAを標榜
- 活動目的  
XML、Webサービス、SOA関連の普及啓蒙  
アプリケーション開発およびシステム構築の推進  
XMLポキャブリラーの標準化支援
- 新しい活動内容  
XML、Webサービス、SOAのビジネスおよび社会基盤  
に対する有用性の研究、検証、訴求

## XMLコンソーシアム今後の活動

- 新設部会  
SOA部会  
ビジネス・イノベーション研究部会  
ユビキタス・組み込み系部会
- 重点施策  
ビジネス・オリエンティッドな普及活動  
ユーザー向けの啓蒙活動  
ユーザーシンポジウム  
ユーザーのための勉強会  
グローバルな標準化団体に対する日本発標準仕様の提案  
他団体との連携強化

## ご案内

### ■ 第4回総会

日時： 6月11日(金)14時 - 18時

会場： 東京コンファレンスセンター品川

終了後、懇親会開催

### ■ 部会活動紹介セミナー

日時： 6月28日(月), 7月1日(木)

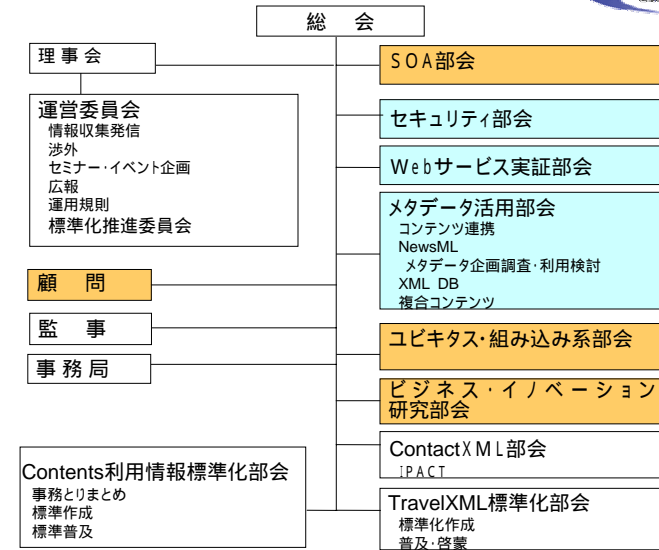
会場： 日本IBM 箱崎事業所

### ■ 定例セミナー

日時： 7月14日(水)

会場： 日立ソフト本社(臨海線)

詳細： <http://www.xmlconsortium.org/>



(2004年6月11日 第4回XMLコンソーシアム総会承認)

本資料の内容(図、表、文書等)を、製造業XML推進協議会並びに講演者に無断で転載することを固く禁じます。

## 製造業XMLフォーラム2004

開催日 平成16年6月8日(火)

主催 製造業XML推進協議会  
[財団法人 製造科学技術センター 内]  
東京都港区愛宕一丁目2番2号  
電話03 - 5472 - 2561